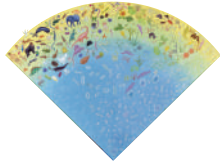


生命誌研究館のラボより



絶対共生を支える イチジクの匂い



イチジク属植物とイチジクコバチは、互いに利用し合う「相利共生」の関係を数千万年保ったまま、種分化をくり返して多様化しました。その共生関係は、多くが「1種対1種」の密接な関係です。コバチはペアとなる寄主のイチジクを探すのに、イチジクの花の匂いを手掛かりとしています。花のうの形の特徴が似ているイチジク種でも、花の匂いは明確に異なることが分かりました。

イチジクの種類

Ficus erecta



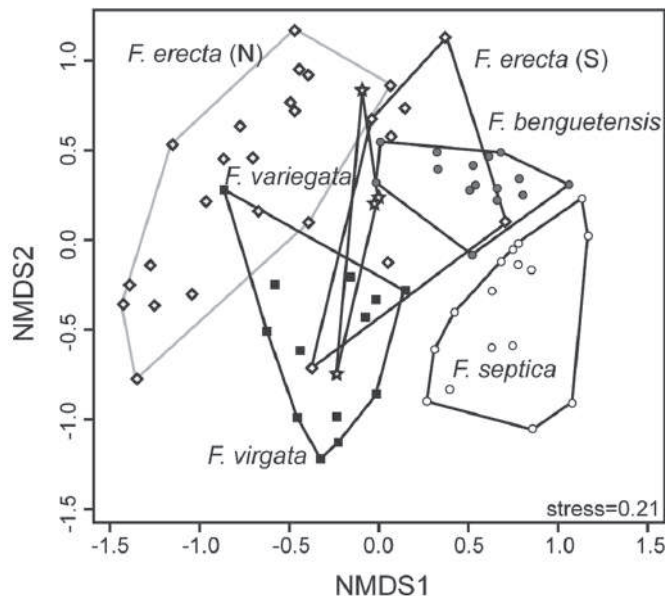
F. variegata



F. virgata



イチジクの種による匂いの違い



F. benguetensis



F. septica



同所的に生育する5種のイチジク植物の花の匂いの化学成分の組成の違い。囲まれている各種の図形が離れているほど匂いの違いが大きい。Okamoto, T. and Su, Z.-H. *Plant. Syst. Evol.* 307, 45 (2021)より



DNAから進化を探るラボ(系統進化研究室)